

東方青龍

とうほうせいりゆう(Green Dragon)

伊勢崎市立あずま中学校

学校通信 NO.338

令和7年11月28日(金)



当たって碎けろ～ 共に挑み、共に掴み、共に輝く～

スローガンが決定し保健室横の壁面に掲げられました。そこで、スローガンに込められた思いを、生徒会本部の皆さんに聞いてみました。

Q：スローガンに込められた思いを教えてください。

A：あずま中生全員が、碎け散るくらいの強い覚悟を持って全力で物事に取り組む学校にしていきたいという思いを込めました。

Q：「共に挑む」とは、どんなことに挑む姿を想像していますか？

A：まず行事が思い浮かびます。部活動、勉強もです。つきつめれば学校生活の全ての場面です。

Q：「共に掴む」とは、具体的に何を掴むのでしょうか？

A：一人一人の心の中にある、「夢」「希望」などです。行事に真剣に取り組む中で、仲間との「絆」が深まっていく姿も想像できます。

Q：「共に輝く」とあります、輝いているあずま中生としてどんな姿をイメージしますか？

A：活躍し喜び合う姿、元気にあふれる姿、笑顔にあふれる姿、自分らしさを実感している姿などが思い浮かびます。

Q：スローガンに込められた思いを踏まえ、生徒会としてこれからどんなアクションを起こしていきたいと考えていますか？

A：生徒会本部だけで完結する活動にしたくないです。皆さんの声を受け止め、皆さんに返していくような双方向の活動をこれから考えていきたいです。

Q：全校の皆さんに一言

A：「双方向」を大切にしていきたいと考えています。あいさつ運動では元気を与えられるような生徒会でありたいと思います。皆さんも元気いっぱいの挨拶で返してくれるとうれしいです。共により学校を創っていきましょう。

【1階保健室横に掲載されたスローガン】



「予告なし避難訓練」を実施しました



これまで繰り返し行ってきた「避難訓練」ですが、近年、実施の方法などが見直されています。その一つが「予告なし」の避難訓練です。災害は予告なく起ります。また、当たり前のことがですが、常に教室にいるときに起こるとは限りません。そこで、今回は、より様々な場所にいることの多い時間帯である昼休みの時間帯に訓練を設定、地震後の火災の出火場所を過去の訓練とは変更するなど、瞬間的に判断して行動する力を育てることを意図した訓練を実施しました。突然の放送にとまどう生徒も見られましたが、よく放送を聞き、自分のいる場所からの避難経路を考えて行動に移す姿がたくさん見られました。今回うまくいったこと、うまくいかなかったことを振り返るとともに、「違う場所にいたらどんな行動をしたらよいのだろう？」とこの機会に想像を膨らませてみることも大切です。ぜひご家庭でも話題にしてみてください。